

寿会湘南支部ニュース 第13号

～湘南支部のスローガン～
長寿社会を健康で生き抜く!



1・サークル活動ご案内(9月)

9月29日 三浦半島のグルメ

☆実施日 ・平成29年9月29日(金)

☆集合場所 ・京浜急行三崎口駅改札口(一か所のみ)を出た所に10時集合

☆参加申込みについて

・9月19日(火)中に下記(共に景山康二宛)へ御願ひ致します

Eメール(koji_k194812@jcom.home.ne.jp)の当メール宛へ返信で御願ひ致します。

Eメールを使われていない方：携帯電話 090-1054-3100 へ

*店の予約の為に御参加は、予約制とさせていただきます

☆散策(約1時間半程度)する見所と懇親会(12時半頃から)

・城ヶ島大橋(高さ21m)・城ヶ島展望台から三崎漁港や周辺地域の景観を楽しむ

・馬の背洞門など磯の景観、プレートパワーを感じる河岸段丘の景観を楽しむ

・城ヶ島漁港直営店:「漁師の店」で新鮮魚介類などを肴に恒例の大懇親会

☆会費(当日頂きます)

・3,000円、飲食物代金として(懇親会は店内で行うために持込みは出来ません)

☆御問合わせ

・内容等の御質問・御問ひ合わせは飛田和男まで御願ひ致します。

Eメール：kawasemi-hotuma@jcom.home.ne.jp

携帯電話：090-4933-8403

☆服装 ・残暑対策として帽子、散歩道程度ですが運動靴程度では御願ひします

★雨天時等の変更・中止の場合は前日の昼迄に御連絡致します

変更又は中止でも、懇親会だけは形を変えてもやりたいと思います

◎それでは支部役員一同、御申し込みをお待ち致しております

幹事:市楽正博、飛田和男、景山康二





～山口みかん園スタッフの皆様～

12月1日(金) みかん狩り

☆実施日：平成29年12月1日(金)

☆集合場所：JR早川駅改札口集合(一か所のみ)

☆集合時間：10時10分(10時7分着電車あり)

(遅れた場合は、下記担当者へ連絡を下さい)

☆会費について：会費無料・自由参加

☆昼食について：各自弁当をご用意下さい

☆コースと歩行時間

早川駅→(徒歩1時間)→ミカン園→(徒歩15分)→一夜城で昼食→(徒歩45分)早川駅

30分食べ放題 買取可(1Kg200円・配送も可能です)

☆服装は、12月は寒さ対策として帽子、防寒具を。また運動靴をお勧めします

風光明媚なミカン畑の中をゆっくり歩きます。どうぞ、気楽にお出かけください！

幹事：伊藤恵美子 景山康二 浜田正義

☆問い合わせ先

・伊藤恵美子：Eメール: emiko2395@amail.plala.or.jp 携帯: 090-5216-8496

・景山 康二：Eメール: koji_k194812@jcom.home.ne.jp 携帯: 090-1054-3100

～雨天時等の変更・中止の場合は～

前日 PM6:52 の NHK 天気予報: AM6～PM6 の間、横浜が晴&曇は実施。

雨&雪は中止。不確かな場合は担当幹事に確認して下さい



～野島海岸～ アサリ掘り

実施日:2017年6月9日(金) 曇りのち晴れ



参加者

飯田 進、石塚 勝、石井 國喜、市楽 正博、伊藤 恵美子、景山 康二、川崎 勝弘
河田 晋吾、菅野 敏、北川 利昭、古林 茂、多田 晋、飛田 和男、中村 征英、中村 誠
浜田 正義、福岡 満、福山 幸治、南 健輔、八木 閱三 (以上 20 名)

湘南支部恒例のあさり掘り、4.回目を迎え今回は過去最高の 20 名の参加で盛大に実施。当日は梅雨の初めで天気が心配されたが幸運にも梅雨の晴れ間に恵まれ 10 時全員野島海岸に集合。すでに会場は準備万端、野島在住の市楽さんによるあさり掘りポイントの説明のあと一斉に潮が引いた海岸へ、それぞれ採れそうなところを目指しあさり掘りスタート。砂の中に手を入れ少し掘るとあさりの手触り、今年は多少小ぶりながら大量の予感、次々にあさりにあたる。多少の老体にむち打ち腰の疲労も忘れ掘り続けた結果 2 時間で全員網いっぱいの大漁。

さすが豊かな野島海岸、自然の恵みに感謝しつつ午前の部終了。

さていよいよ 12 時から懇親会。まずはビールで乾杯の後、市楽さんよりあさりの酒蒸し・アジフライの差し入れをいただき、新鮮ぶりぶりのあさりにお変わり続出。特別仕立ての刺身や明太子も加わり、飲み物も日本酒・泡盛・ワインとどんどん進む。自然の中で飲む酒とつまみの味はまた格別とばかりビール 24 缶・焼酎 2 本・泡盛 1 本・日本酒 4 升・ワイン本が次々に空いていく。

益々会話が弾み宴たけなわだが帰りの心配のないところで中締め、来年の開催を願って盛大の内に解散、皆さんが大漁のお土産を持って帰路についた。

自然の中で会員の一層の親睦が図れた楽しい一日となりました。最後になりますが差し入れいただいた方々、前日から多大な準備をしていただいた市楽さん、幹事の方々に重ねて感謝申し上げます。

景山記

★ 翌日の
パーティは
いかがで
したか ★



第9回 「琵琶湖周遊」・・・(前編)

旅人:井澤 勇

昔々有る所にお爺さんとお婆さんがいました・・・と始まる話は懐かしいおとぎ話だ。子供の頃、夜布団に入って親から聞く他愛無い話は、とても楽しみだった。しかし、その話を終わるまで聴いた記憶が残念ながら無い。だから因幡の白兎がその後どうなったか、猿蟹合戦の猿も蟹もどうなったのかは未だに良く解らない。この分だと多分知らないままであの世に行く公算が高い、ソレは仕方ない事だと思っている。

琵琶湖周遊などと大それたタイトルを書いたが、本当に琵琶湖をぐるっと回ると200Km程あるそうで、私の様なお爺さんが一日で回りきる大きさではないのだ。そこで私は「南湖」と呼ばれる南側に伸びた尻尾の様な部分をこじんまりと回り、「琵琶湖を私は回りました」と見栄を張ることにしたのだ。昔から見栄を張る事は人一倍得意だった。

前日、大阪の伊丹空港から高速バスに乗り、奈良県の平城京を回った。その足で京都の梅小路機関区などを見学し、盛り沢山の工程を走って来たので、あまり欲張った計画をしても後が怖いと自分に言い聞かせてのコースだ。

平城京では私が自転車で到着するや否や、ボランティアのガイドが私の自転車を取り囲み「何処から来たのか?」「なぜ自転車で来たのか?」等々質問攻めにあった。平城京に来る観光客は余り多くは無いが、皆観光バスかタクシーと相場が決まっていたらしい。コレコレしかじか、私の話を聞いたガイドの一人は、なぜか張り切って平城京の歴史を、今回は30分で説明しますと言って歩き始めたが、終わったのは1時間も経ってからだった、しかし人の親切は素直に受け入れなくてはならない、ソレが自転車乗りの掟でも有る、おまけに別れ際「次回はモット詳しく説明するからゆっくり来い」と言うのである、「有難い事です」と言って自転車にまたがった。

さて南湖サイクリングに話を戻そう、湖は風が無いと静かな物だ、自転車は音も立てずに水際を北に向かって走っていた、時折水鳥がバタバタと音を立てて飛び上がる、びっくりする様な静けさなのだ、途中「琵琶湖大橋」を渡り湖の西岸に出た、東側と大分雰囲気の違い昔の落ち着いた佇まいの家並みが続く、平屋で瓦葺が並ぶ懐かしい町並みだ、立て札には「さざなみロード」と書かれていた。名前に恥じず場所によっては打ち寄せる小波が「ピチャピチャ」と聞えるほどだ、暫く行くと道の真ん中に「石」が転がっていた、自転車に石は天敵である、気が付かず乗り上げるとたちまち転倒事故になるからだ。私は石に注意しながらその脇を無事通過した、しかし「ウっ」何か変だ、石じゃない・・・

後編に続く・・・





今回は海外から中国に核心技術の移転の難しさについて体験・見聞した事を記述します。石油精製バルブを国営企業や解放軍精製工場に販売する商社の時です。生産工場は、元は中国国営のものを日本のバルブ大手企業が買い取り日系独資にしました。過去からの中国人の間で解決できない未払いの問題、納期遅延問題があり、何回か私が蘇州に行き中方トップ常務副総経理と交渉しましたが、ラチが明かないので、日本橋の本社に当時83歳の創業者社長を訪ね、交渉しました。初対面ですが、本題の解決には合意できました。その時、その社長とは中国ビジネスの問題点なども話し合いました。

社長曰く「わが社は独資なので、早くキーパーツも含め中国に完全移転するため現地の技術、材料、工法の分かるハイレベル人材を日本に呼び、長期研修をした。うまく行かない理由で一番大きいのは、研修した中国人社員同士の不信感だ。日本から度々指導はしながら進めたが、成功するまで粘り強い協力体制が必要なのに、中国人社員は、うまく行かないことで、仲間を責めてしまい、結果的に人間関係が壊れ、技術移転どころではなくなる。一人一人は優秀で技術レベルも高いけど、三人組むと、三人の内輪もめになり、バラバラになる。独資化して二回やったが何れも失敗した。」

同じようなことを私も大連の銅線ケーブル会社で経験しました。私が着任して、以前からの懸案で手つかずであったアメリカの非稼働分工場から、ドイツ製の一貫生産設備を大連に移管することに着手しました。中国人設備専門家、博士号を持つ金属専門家、電子制御技術の専門家を選び、技術にも詳しい通訳と共に四人ミシシッピー工場に合計三回長期派遣し、設備を大連に送ることにしました。私は総責任者として、米国工場からの送りから大連税関の通関まで細かく進度管理をして、予定通りに大連の工場に到着し、セットアップまで出来ました。そこからは想定外のことだらけ、試運転をしてもうまく行かないのです。私をリーダーに毎朝三十分プロジェクト五人で進度確認、問題点の明確化、次のステップで行うこと等々確認しながらの毎日でした。ここでもやはり上手くゆかないと、仲間なのに「相手を責める」ことが散発しました。私が都度、目的は何か、やるべきは知恵を出し合って問題解決することだと納得させながら、本格使用に向けて進めていました。八カ月年経過してところで、私の契約任期が切れたので、新設備の完全稼働を見ないまま離任、帰国しました。半年後に個人的な旅行で遊びに行った時、会社幹部に会い、気になっていた結果を聞きました。結果は未だ実用化できずで、内紛が原因で、原因が金属素材だとみんなから責められた金属専門家が、辞職に追い込まれドイツ系他社に転職し金属材料が分からなくなったからでした。別の日に彼とも会ったら彼の言うには、総経理(中谷)が帰国してから、董事長(会長)はやれと言うだけで、細かいことに関心が無い上に、うまく行かないことで仲間も含めてみんなに責められて退職したとのこと。

日本では凡人でも「三人寄れば文殊の知恵」という諺がありますが、かの地では個々人は優秀でも複数人寄ればバラバラになり成果が出せないという私の経験例です。人と人との間にある信用のあるなしからと思います。中国は生産大国になり先進国の技術を吸収しているようですが、先端技術はどうかのかな、と疑問に思います。

記:中谷泰



蘇州バルブ工場



大連傅氏の全景

市楽様には、役員の欠員が出て
も補充の難しい中を引き受けて
頂きました。

湘南支部の担当と同時に OB 会誌に載せるために自己紹介文を書くよう事務局から要請がありましたので、今回は町の歴史に関わることについて紹介いたします。

私は京浜急行線の金沢八景駅前から見える「野島」という島に住んでいます。戦前まではその島に渡る橋はなく渡船に頼っていたらしく、対岸から掛け声を上げると向こう岸から張ロープに支えられた渡船がやってくる仕組みであったらしい。この地は昔からの小さな漁村ですが、今は漁を継ぐ人も少なくなり海苔の養殖や釣り船などで生活をしています。

金沢八景という住居表示の地名はないが、遠くは明の僧侶、心越禅師が金沢に立ち寄り詠んだ漢詩が「金沢八景」として人気を高め、江戸後期の人気浮世絵師歌川(安藤)広重もこの付近を八つの浮世絵にして世に広めました。一方、隣に追浜航空隊(今の日産付近)があったために昭和 18 年前後から強制疎開を余儀なくされました。

こんな町に私は 50 年近く住んでいますが、若いころは町のことは一切興味がありませんでした。しかし或る時、私が 58 歳のころ町内会の重要審議事項があり、当時役員をしていた義父に代わりに出席したことで町内会との付き合いが始まりました。

最初は町内会に入り、次は祭礼の保存会、木遣会、神社総代会にと携わり、そして町内の旧伊藤博文金沢別邸へ勤務する傍ら、近くの小学校のサポートクラブ(学校行事の支援補助など)に入り、町の皆さんとの交流が始まりました。

今回はその中で野島町の木遣会を紹介する予定です。



← 歌川広重の野島の浮世絵
野島の夕照(せきしょう)

「夕日さす野島の浦にほすあみの
めならふ里のあまの家々」

～浮世絵に記載された「京極高門」の和歌～

毎年恒例になりました「野島の
アサリ掘り」では、市楽氏の愛車で
あるリヤカーでご自宅からアサリ
料理が届きます。

お・い・し～～いです！



(市楽氏と名物のリヤカー)

熱中症を考える

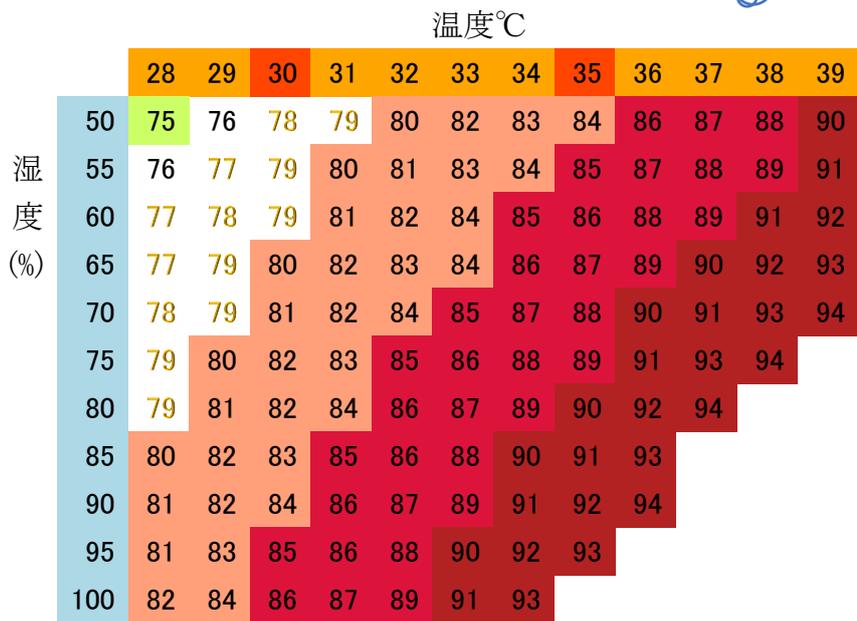


不快指数	体感
～55	寒い
55～60	肌寒い
60～65	何も感じない
65～70	快い
70～75	暑くない
75～80	やや暑い
80～85	暑くて汗が出る
85～	暑くてたまらない

(Wikipedia 不快指数より)

日本人の場合、不快指数が77になると不快に感じる人が出はじめ、85になると93%の人が暑さによる不快を感じると言われています

不快指数を温度と湿度で現わしましたが、これに風速等が加わります



赤い色の濃いほど不快指数が高い

～予防と対策～

野菜、果物が重要な訳は

電解質が多く含まれているから！

熱中症とは、脱水状態に陥り電解質が失われた状態です。体液は電解質のバランスにより成り立っている為、筋肉、神経、心臓の働きに悪影響を及ぼします。

こんな症状を感じたら熱中症を疑いましょう

- ・だるい(力が入らない)
- ・イライラして思考力、集中力がない
- ・体の火照りが続く
- ・食欲がない ・嘔吐 ・下痢
- ・頭痛 ・よく眠れない

電解質の多い野菜と果物を！



水分補充を



クールダウン



8・パソコン教室

パソコン教室へのお誘い パソコンで困っていませんか？



日時：毎月第2月曜日 9:30～12:00
会場：横浜駅西口
「かながわ県民センター」10F
(横浜駅徒歩5分)
費用：無料
講師：加藤 苑生氏
～毎回詳しい案内があります～

パソコン教室は、パソコンにかけてはスペシャリストの加藤苑生氏を講師に、パソコン用語に始まり、写真ファイルの整理の仕方、ワードへの写真挿入、エクセルの活用方法等と知っているから便利な内容から高度なテクニックまで教えて頂けるのがこのサークルの特徴です。

皆様の中で、突然予期せぬ事態に陥ってパソコンがストップしたままの方や、パソコンが眠ったままの方、そんな問題を解決してスッキリしませんか。

月に一回、世間話も兼ねてお出かけ下さい！お待ちしております。

9・会員情報

各支部より計報報告 (2017年5月～2017年8月)

ご氏名	支部	ご命日	享年
浦 純一	横浜中央	2017年5月19日	74
鈴木 力男	湘南支部	2017年7月13日	98

皆様のご冥福を謹んでお祈り申し上げます

10・編集後記

最近のニュースで、学校の課外授業中に熱中症で数人の生徒が病院に運ばれた記事が載っていました。その時の気温が30度なかったのに熱中症になると考えなかったそうです。

これからは気温だけでなく不快指数を考慮しないといけないと思います。今回の支部ニュースで取りあげてみました。

年々夏の暑さが辛くなり自分を叱咤しがちですが、頑張り過ぎないのも大切だと思うこの頃です。

発行日：2017年9月1日
発行人：古林 茂
編集人：伊藤 恵美子
発行：日本ビクター寿会